

ひだまり

2017.01
Vol.7



壁面製作



ひだまり江刺第二桜木

新年ご挨拶



「社会福祉法人制度改革はじまる」



理事長

田鎖 洋子

新年あけまして、おめでとーございませす。

皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができました。

昨年を振り返ってみますと、

*ひだまり創立十周年記念式典の開催

*ひだまり江刺第二桜木

(放課後等デイサービス)の開所

*ひだまり江刺岩谷堂多機能型事業所

(就労継続支援B型事業所)の開所

*岩手ひだまり会後援会の設立

*ひだまり北上にこっと

(放課後等デイサービス)の開所

等、あげるだけでもこれくらいのことがありました。これだけの事業投資をしていることはもちろんですが、これらにはたくさんの方が関わっております。関係者の皆様には、私たちの無理難題にもお応え頂き、地域で暮らす障がいをもった子どもたちや障がい者の皆さんのために、



大変ご協力を頂き、誠にありがとうございました。また、念願でありました後援会も、設立発起人の皆様のご協力により、昨年十一月に設立致しました。ご尽力賜りましたこと、心より感謝申し上げます。後援会にご入会頂きました皆様のご期待にそえるよう、益々役職員一同一丸となって、邁進して参りたいと存じます。

我が法人は、昨年十二月中旬に評議員会・理事会を開催し、定款の改正について審議をしました。いよいよ今年は、本格的に社会福祉法人制度改革がはじまります。四月以降は、諮問機関であった評議員会が議決機関となり、議決機関であった理事会は、執行機関となります。

テレビ等で世間を賑わせている法人もあります。法人のお金でなぜ高級車等を購入できるのか、わからないことがたくさんあります。不透明な部分を明らかにし、より一層、経営組織そして財務規律の強化が求められていきます。私たちは、市町村から給付費を頂いておりますが、これらのお金は市民の税金であり、公金です。

法人の基本理念「人に尽くし 人に学び 人に感謝せよ」に基づき、役職員一同邁進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



平成二十八年度苦情解決報告会

平成二十八年十月二十四日に、水沢グランドホテルにおいて平成二十八年度苦情解決報告会を開催いたしました。第三者委員の佐々木裕様をはじめ、理事、監事、各事業所苦情受付担当者、苦情解決責任者を含む総勢三十名のご出席を頂きました。



報告会の様子

各事業所でのような事故、ひやり・はつとが多いのか分析を行い、対処方法を検討・実践し、来年度は少しでも減らすことができるよう努めて参ります。また、利用者・保護者、職員間の関係をより良いものにし、情報の共有をしっかりと行い、利用者一人ひとりに合った支援を提供できるように、取り組んで参ります。

ひだまり北上こども園

所長（管理者） 栗野 恵美子

お陰様で、北上市に二つ目の事業所として十二月一日に開所しました。これもひとえに開設準備室会をはじめ各関係者の皆様方のご支援とご協力、ご厚情の賜と厚く御礼を申し上げます。

内覧会での一般の方の見学は、三日間で三家族でした。正直なところ不安になりましたが、五日の開所式には、北上市議会教育民生常任委員、区長、花巻清風支援学校、相談支援にかかわる各機関の方々や近隣の方々にご列席いただき、あらためて「ひだまり北上にこっと」への地域の期待と使命の大きさを実感し、希望を膨らませてスタートしました。

岩手日報新聞に記事として写真入りで掲載していただき、そこからの反響もあって、開所式の翌日から、相談支援事業所を通じて施設見学や利用相談・利用申込みが寄せられ、三人の利用登録者で年を越せそうです。程よい広さのプレイルームでの活動をアピールしながら、利用者の拡大に努めてまいります。

当所のスローガンを「五つの”わ”笑・



和・解・話・輪く笑顔で和やかに解りやすく対話で繋がるサービスマと掲げ、チームひだまりとして、より質の高いサービスの提供を目指して尽力していきます。



活動の様子

広いスペースを活用し音楽に合わせて、職員と一緒に体を動かしています♪



職員紹介

所長（管理者）

栗野 恵美子
あわの えみこ

児童発達支援管理責任者

山内 登美子
やまうち とみこ

保育士

美濃川 碧
みのかわ あおい

指導員

千葉 彩夏
ちば あやか

お問い合わせ

●ひだまり北上こども園●

住所 北上市町分二地割三八四・五
TEL 〇一九七・七二・五七八一
FAX 〇一九七・七二・五七八二



第十回ひだまり合同クリスマス会



今年度は、北上地区と水沢・江刺地区に分かれて第十回合同クリスマス会が開催されました。

北上地区では、十二月十日ひだまり北上にこつとにて行われ約三十名の利用者・保護者が参加しました。利用者発表としてダンスや合唱を披露し、ケーキ・サンドウィッチ作りにも取り組みました。会食をしながら参加者同士の



交流を深めることができ、有意義な時間を過ごすことができました。水沢・江刺地区では、十二月十八日江刺コミュニティセンターにて開催され、総勢二百七十名の参加となりました。ステージ発表では、各事業所工夫を凝らしたダンスを披露し、練習の

成果を存分に発揮することができました。保護者会の「ウンタカダンス」では、子ども達も一緒になって踊り、大いに盛り上がりました。

発表の間には、音楽療法士の松本圭子先生にご協力いただき、全員で歌ったり、体を動かしたりと、賑やかな声が会場に響き渡りました。

今年度も平成二十八年度奥州市歳末たすけあい運動地域づくり助成金、ひだまり保護者会からの助成金を頂き、開催しております。また、公衆様よりお菓子、株式会社ホソカワ様よりお菓子入りのブーツをご寄付頂きました。

沢山の方々のご協力のおかげで無事に楽しく過ごすことができました。職員一同心より感謝しております。ありがとうございました。



職員余興
「ピコ太郎」
「パーフェクトヒューマン」



保護者余興
「ウンタカダンス」
様々な仮装に扮した保護者の方々が会場を盛り上げてくれました。



各事業所の所長(管理者)がサンタになって子ども達にプレゼントを渡しました。

駅東



森下児童課



森下生活課



江刺桜木



横町



岩谷堂



江刺第二桜木



北上地区

北上地区での初めてのクリスマス会でしたが、皆様からたくさんのご協力を頂き、無事に楽しく過ごせたことを職員一同嬉しく感じております。ありがとうございます。



音楽療法の紹介

水沢森下生活課

生活課では、寺田静江先生を迎え、音楽療法を行っていますのでご紹介します。

私の心にも「ひだまり」をありがとうございます



音楽療法士
寺田 静江先生

まずは始まりの歌。歌が始まると、「よし、はじまるぞ」という皆さんの視線を感じます。次に歌に合わせて身体を動かします。自分で頑張って動かしてくれる方、職員と一緒に動いてニコニコされる方、皆さんの今日の調子が伝わってきます。さて身体がほぐれたところで歌でもいかがでしょうか？曲が聞こえるところで歌を出す方、身体を揺らす方、知っている歌と一緒に口ずさむ方、それぞれ素敵です。続いて、ベルを鳴らしながら歌ったり、ツリーチャイムを鳴らしたり・・・
私はひだまりの皆さんとの音楽で、暖かな「ひだまり」を感じています。



ひだまり北上中央

子どもたちは、音楽に合わせて心身に心地よい刺激をもたらす音楽療法が大好きです。月一回、土曜日の音楽療法の日には松本先生に会えることを楽しみにしています。利用者も増えたことから、二〜三グループに分けて実施します。音に耳をふさいだり、集団での活動が苦手な子供に対しては個別セッションを続けるうちに、スムーズに友達と一緒に参加できるようになってきました。また、グループの中には合同合奏を目指す活動も始まっています。楽しく音楽に接しながら友達との関係づくりのほか、日常のあいさつや決まりを守るなどを学ぶ機会にもなっており、音楽療法の今後の取り組みが大いに期待されます。



今年度のインフルエンザ

保健だより

平成二十八年十一月二十五日付で厚生労働省より今シーズンのインフルエンザ流行入りが発表されました。今年は一九九九年にインフルエンザ調査が開始されて以来、二〇〇九年に次ぐ二番目に早い流行開始となります。

現時点(十一月上旬)での岩手県の発生状況は、注意報レベルです。内陸部より県内全域へ感染拡大傾向にあるようです。

今後、注意報レベルから警報レベルへの引き上げが予想されます。症状がある場合は、早めに受診することが望ましく、ワクチン接種や手洗いによる予防と周囲への感染拡大を防ぐためのマスク着用をはじめとした咳エチケットが重要です。皆さん、出来ることから実施し感染予防に努めましょう。



保護者懇談会開催

各事業所にて、保護者懇談会が行われました。今回は、ひだまり水沢横町とひだまり北上中央からの報告となります。

ひだまり水沢横町

十一月二十日、二名の保護者の方に参加して頂き、懇談会を開催致しました。上半期の運営状況報告や平成二十八年年度前期分サービスマス評価表の結果報告を行ない、その後意見交換をしております。保護者同士での意見交換を持つ場が少なく、そのような機会を増やして欲しいという意見や、保護者向けの勉強会の開催の要望等、多くの意見が出ました。また、保護者とお子さんの顔が結びつかない事も意見として出ており、親と子が一緒に集える機会を作り、沢山の方に参加して頂けるよう呼びかけていきたいと思えます。

今回は、お忙しい中参加して頂き、誠にありがとうございました。



懇談会の様子



懇談会の様子

ひだまり北上中央

十一月二十日、田鎖理事長も出席して平成二十八年度二回目の保護者懇談会を開催し、七家族の出席がありました。事業所から運営状況のほか苦情、事故、ヒヤリハットの状況を報告しました。また、十月に実施した家族によるサービスマス評価（アンケート）の結果を報告しました。保護者からは、事業所の安全確保の要望、「北上にこっと」開設に伴う職員の配置がどうなるのかという質問などのほか、東田直樹講演会が「とてもよかった」との感想が出されました。

利用者・保護者の意見・要望等をしつかりくみ取って運営していきたいと思えます。

保護者懇談会終了後、保護者会主催による芋煮会が総勢三十九人の参加で開催されました。保護者会役員の皆さんが芋の子汁を作り、子どもたちは、家族の分までおにぎりを握ってみんなで楽しく食べました。

保護者会の伊藤会長は、「親同士が交流を深め、不安や悩みを出しあい元気になって子育てをしましょう。」と挨拶しました。



懇談会の様子



芋煮会の様子



寄贈品について

以下の方よりご寄贈頂きました。

・平成二十八年十一月二十二日

千葉一志様より

おもちゃ、ぬいぐるみ等 九十四点

・平成二十八年十二月五日

【ひだまりにこっと開所にあたり】

・株式会社スパット北上様より

観葉植物 パキラ 一鉢

・株式会社みずほ様より

洋蘭 シンビジウム 一鉢

・ひだまり保護者会様より

観葉植物 幸福の木 一鉢

観葉植物 ドラセナ・シエラ 一鉢

・平成二十八年十二月八日

株式会社ウィンズ奥州様より

お菓子 二百個

・平成二十八年十二月十三日

株式会社ホソカワ様より

お菓子 二百二十個

ご寄贈頂きました方々、ありがとうございました。心から御礼申し上げます。

コラム



「幸せってなんだろう」



広報・研修担当理事
向山 晃

先日の朝日新聞に、興味深い記事があった。

厚労省が実施した「ダウン症の人の意識調査」の結果である。

全国で平均二十三歳の約九百名。その中で六割が働いている人たちの調査で、毎日が幸せだと思っている人が九割を超えるという結果であった。

ややもすれば、勉強の出来ることや、勤務先が一流企業、そして見た目がスマートやイケメンだったり「幸せ」だとする数値が高いように思うが、そして障がいを持っていることが「不幸」と思いがちであるが、関係者からすれば「九割が幸せを感じながら毎日を送っていることが別に驚く数値ではない」とコメントしている。私もそう思う。

私たちは今、過剰な競争社会の中で「幸せってなんなのだろう」を忘れていないのではないだろうか。



もう一度、ダウン症の人達から教えてもらう必要があるのではないだろうか。

一方、三年前から実施された新型出生前診断で計三万六千人が受け、染色体異常が確定した約四千人の内、九十パーセントが中絶を選択した。コメントをすることがつらい。

社会福祉法人岩手ひだまり会 後援会設立総会・懇親会



平成二十八年十一月二十六日（土）に、水沢グランドホテルにおいて、社会福祉法人岩手ひだまり会後援会設立総会・懇親会を開催致しました。



設立総会の様子



後援会役員の皆様

十二月十四日現在の会員数は、団体会員数五十四団体、個人会員数百十一名となっております。今後ともご協力の程よろしくお願い致します。

また、新規会員のお申し込みについては下記の法人本部までご連絡をお願い致します。



編集後記

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

利用者様の笑顔、あまり見る事の出来ない、ひだまり内の様子など楽しい広報誌をお届けしたいと思っています。本年もよろしくお願い致します。

(佐藤)

発行・編集 社会福祉法人岩手ひだまり会
広報委員会
印刷 有限会社江刺プリント社

岩手ひだまり会法人本部
住所 〒023-0828
奥州市水沢区東大通り二丁目 4 番 3 号
TEL:0197-47-4222 FAX:0197-47-4223
URL: <http://ousyu-hidamari.or.jp>
ホームページ検索
『社会福祉法人岩手ひだまり会』を  クリック